



『タイ経済・企業レポート動画編』です！！

リアルなタイが見えてきます。

ご覧頂いて、「タイって面白そう！」とと思っていただければ、幸いです。外国の現場の情報ってなかなか手に入らないものなので、一日限りのキャンペーンですが、お申し込みいただければ幸いです。

もう一つ

12月22日(土)タイ株式セミナー(セミナーズ) 13:30新宿NSビルで開催です。  
[http://www.seminars.jp/user/seminar\\_d.php?sCD=15069](http://www.seminars.jp/user/seminar_d.php?sCD=15069)  
残りのお席は5席くらいになります。

さてそれでは第28号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。  
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

まずはPTTの上場問題のお話です。

2007年12月14日金曜日。タイの上場企業の時価総額ナンバー1であるタイ石油公社(PTT)のタイ証券取引所上場を認める認めないの判断をする裁判の判決が出されました。

ブログでも書きましたが、

タイの最高行政裁判所は、PTTに対してガスパイプラインなどの権利は譲渡するよう命令しています。民営化プロセスは一部問題もあって上場されたものすでに証券市場に与える影響は大変大きくなっており、そのために折衷案として国の資産であったパイプラインおよびその利用される土地は返還すべきとの判断を出しています。

ただしこのパイプライン事業の収益はそれほど高くなく、現在9000億バーツ(およそ3兆1500億円)の時価総額を誇るタイ石油公社にとってはそれほど影響を及ぼさないと判断が多数を占めています。

大部分の証券アナリストも、PTTが与える経済と投資家の信頼への損害が広範囲であるために、PTTがSETから上場廃止になるのは可能性が低いとしていました。

2006年7月に一部の消費者団体が最高裁判所に対して2001年のPTTの上場はタイ国家のエネルギー裁量権を奪い、PTT経営陣が国民の利益を損ねたとしてタイ証券取引所からの上場廃止を求めています。

少々まだ紆余曲折しそうな流れなのですが、一安心と言うところもあります。

タイの新聞では saving や save という言葉をひんぱんに使っていましたがまさに救われた感のある事件でした。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■  
タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● クルンタイ・バンク(KTB) 028 です。 ○○

こちらタイの大手国有銀行となります。

2006年末はタイの時価総額で第8位の大企業。

リテールより公的機関、公務員・大手法人などの方に力のある銀行です。政府関係機関の持ち株比率は90%を超えます。1997年のアジア通貨危機後、政府の要請を受けて、他の金融機関の救済に当たるなど、政府系銀行としての役割を担っています。子会社にはKTC（クルンタイカード）ともつながり深く、薄い水色のイメージで有名な銀行です。

最近フランス系生保アクサと協力して生命保険の販売なども力を入れています。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

タイの次期政権の行方を占う、国民選挙が12月23日(日)に行なわれます。

バンコク市内でもすでに投票所の準備、候補者の一覧の看板が登場しています。

2005年にタイの友人に投票所に連れて行ってもらったことがありますが、流れはなんとなく日本のそれと似ていました。

流れるに数分で済んでしまいます。  
2006年のクーデター後は  
経済政策の舵取りが上手く行っていなかったと考えるタイ人の人が  
多いことから民主党より国民の力党へ期待する人も  
増えています。

首相候補として一番ふさわしいとのアンケートでは  
民主党(プラチャーティパット)のアピシット党首が一番なのですが、

どの政党が勝つのか、そして投票するのかの予想リサーチでは  
大半が国民の力党(パランプラチャーチョン)がかなり優勢です。

このまま行きますと、  
旧タクシン勢力の国民の力党が勝利。しかし過半数はやや厳しい。  
→そしてどこの党と連立を組むのかで  
タイの2008年が決まります。

セミナーでも解説しましたが、  
復習の意味も込めて書かせていただきました。

22日新宿セミナーでもゆっくりとじっくり解説していきます。  
質疑応答の時間も設けますので、どうぞよろしく願いいたします。

[http://www.seminars.jp/user/seminar\\_d.php?sCD=15069](http://www.seminars.jp/user/seminar_d.php?sCD=15069)

□□      No 4 追伸です      ■■

まずはタイ株書籍「日本人が知らなかったタイ株」キャンペーン。  
本日までです。  
ご希望のかたはこちらになります。

<http://thaikabu.net/amazon.php>

タイ観光庁(日タイ観光交流年 2007 Web サイト)  
やその他のホームページでもいろいろとご紹介いただきました！  
誠にありがとうございます。

<http://www.thai-japan120.com/see/000228.html>

ランチェスター経営の栢野先生、

<http://blog.livedoor.jp/kaya0169/archives/51148287.html#comments>

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120  
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

その他にも多くの方にご協力いただきました。

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

阿部

P S アマゾンキャンペーンは本日17日（月）までです。動画が入手できます。

管理人が一番大切にしていることに  
「百聞は一見にしかず」と言うのがあります。  
どんなに魅力的なお話でも  
やはり見てみるのと話で聞いてみるのには大きな錯誤や  
思い込みがあると思うのです。

そんなわけで動画を用意してみました。

「少し画像が荒いですね」  
「少し音が聞き取りづらい」と言ったご意見もありがとうございます。  
またご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、  
投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が  
発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之  
TOSHIYUKI ABE

Managing Director  
ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.

TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)  
E-mail [abe@thaikabu.net](mailto:abe@thaikabu.net)  
Blog <http://toatoajugem.jp/>  
Homepage <http://thaikabu.net/>

<http://mag.financialacademy.jp/>

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120  
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

